

子育て支援センター

『そだてらす』に遊びにきませんか？

「そだてらす」は、未就学児とその保護者を対象に、自由に楽しく遊ぶ場所を提供しています。育児相談やパパママ同士の交流もできますよ。定期的にイベントも開催していますので、気軽に遊びに来てください！

●と き 毎週月曜日～土曜日

9:00～16:00

●ところ 千代田町保健センター

●対 象 未就学児

●予 約 不要

※毎週木曜日はさまざまなイベントを実施しています。(要予約)

※毎週金曜日は神崎市中央交流センター1階で出張ひろばも開催しています。

※土曜日は時間で対象児を分けています。

・ 9:00～12:30 (3歳未満児)

・ 12:30～16:00 (3歳以上児)



川西 友香さん 惟友ちゃん

利用者の声



初めての利用はこどもが生後3カ月の時でした。1人目の子で右も左も分からず不安でしたが、センターでたくさんの情報交換をして、色々なイベントに参加させていただくことで、充実した毎日を送ることができています。

また、センターの先生と関わる中で、こどもはママより好きなんじゃないかってぐらい先生たちのことが大好きで、ママそっちのけで眠くなるまで走り回っています。こどもに「今日はセンターに行くよ」と言うと、毎回大興奮しています！

初めてセンターに行ったときは、私自身も緊張していましたが、今では利用して本当に良かったと思っています。先生たちや出会えたママさんたちには大変感謝です。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

職員から



私も神崎市で子育てをするママのひとりです。子育てはうまくいかないこともありますよね。そんな時は一人で抱え込まず、ぜひ「そだてらす」に遊びに来てください。

子育て中のすべての人が子どもと一緒に笑顔で過ごせる居場所づくりを目指しています。ぜひ遊びに来てください！



子どもたちに、食べる楽しさを伝えるお手伝いができることが私のモチベーションになっています。初めての離乳食など戸惑うことも多いですね。

どんなことでも結構です、気軽に声をかけてください！

「そだてらす」はあなたの子育てを応援します。

多様化する社会のニーズに向き合いつつ、一つひとつの家庭、一人ひとりの子育てに心を込めて寄り添い、みんなの「心の居場所」で在り続けたいと思っています。

子どもの未来のために一緒に子育てをしていきましょう。皆さんの来館をお待ちしています！

皆さんの子育てをさらに応援！

4月からセンター機能を拡充します！



①新たな支援員が加わりました！ New

より子どもの遊びをサポートし、手厚い育児相談を行えるよう、センターの支援員を増員しました！



②土曜日も開館しています！ New

これまでは、平日のみ開館していましたが、休日に育児の相談や遊び場の提供ができるように、土曜開館を開始しました！

③おもちゃ・遊具を増やします！ New

いろいろな遊びを提供し、子どもが楽しみながら成長できるよう、おもちゃや室内遊具を増やします！



④出張ひろばを開始しました！ New

たくさんの人に利用していただけるように、金曜日は神崎市中央交流センターで出張ひろばを実施します！



⑤センターの愛称が決まりました！ New

皆さんに親しみをもってもらい、もっと気軽に利用していただけるよう、新たにセンターの愛称を「そだてらす」にしました！

2/12
17

西九州大留学生との交流授業 自分の夢を英語で発表！

西九州大学・西九州大学短期大学部で学ぶ留学生を招いた「外国人留学生との交流授業」が、千代田中部小学校と千代田西部小学校の6年生を対象に行われました。

両校の児童は、1年生の頃から学んできた英語を用いて「自分の夢」についての英文を作成し、一人ずつ留学生の前で発表しました。

発表後、留学生が児童一人一人に評価を行い「Dreams come true (ぜひ、夢を実現させてください)」と言われた児童はとても嬉しそうな表情を見せていました。



2/14
16

県内一周駅伝 神埼・吉野ヶ里チーム 沿道の声援を背に懸命な走り

第65回都市対抗県内一周駅伝大会が開かれ、県内各市町の代表選手が市内を駆け抜けました。沿道に集まった市民から大きな声援が送られ、選手たちは懸命な走りを見せました。

神埼・吉野ヶ里チームは、総合9位で昨年の8位から順位を下げましたが、8区・23区で平敏治選手が区間2位の力走。17区では佐賀や小城の強豪に続き、千北亮洋選手が区間3位の走りでタスキをつなぎました。



2/19

幼児交通安全フェスティバル 新入学に向けて交通ルール学ぶ

4月から小学生になる市内幼稚園・保育園の園児に向けた「幼児交通安全フェスティバル」が中央公民館や中央公園グラウンドで開かれました。

園児たちは、警察音楽隊の演奏に合わせて歌を歌ったり、くねんワンと一緒に模擬横断歩道を渡ったり、楽しく交通ルールを学びました。

また、ヤマト運輸の協力でトラックを使った死角体験を行い、死角の多さやトラックの内輪差などを学びました。



参加した植村菜都季さん（西郷保育園）は「横断歩道の渡り方を教えてもらったので、交通マナーを守って小学校へ行きたい」と話しました。

2/22

レッドトルネード神崎市民応援デー 市民の応援で快勝！

ハンドボールの新リーグ「リーグH」で活躍するトヨタ紡織九州レッドトルネードSAGAを市民一丸となって応援するイベント「神崎市民応援デー」が、SAGA プラザで開催されました。

レッドトルネードSAGAは満席となった神崎市民応援席からの応援もあり、アルバモス大阪に終始リードを保ち36対27で快勝し、今季10勝目を挙げました。

リーグH初代王者を目指すレッドトルネードSAGAに今後も熱い応援をお願いします。



3/7
18

市内小・中学校卒業式 希望や夢を抱き学び舎巣立つ

市内の小・中学校で卒業式が行われ、小学校7校の275人、中学校3校の271人が晴れの旅立ちを迎えました。子どもたちは希望を抱いて巣立っていきました。

千代田東部小学校では12人の卒業生一人一人が将来の夢や決意を語り、卒業証書を受け取りました。富永和



重校長は「これから大きな夢を実現させてほしい」と門出を祝いました。

また、脊振中学校では15人が式に臨み、牟田美弥子校長が卒業生に証書を手渡し「卒業しても自信と誇りを持って歩んでほしい」と激励。卒業生は最後にお別れの歌を涙ながらに歌い、思い出深い学び舎をあとにしました。



3/8

「下村湖人」漫画完成記念シンポジウム 遺した言葉から湖人の人物像に迫る

千代田町生まれの作家で教育者、下村湖人の生涯を描いた漫画の完成を記念したシンポジウムが、中央公民館で開かれました。

下村湖人生家館長の島英彰さんによる基調講演と、漫画原作者の前田司さんをコーディネーターに迎えたパネル討論で湖人の思想や人物像に迫りました。

島さんは、代表作『次郎物語』をはじめとする著作の中の言葉や、関わりのあった人たちとのエピソードを通じて「義侠心」に溢れる一方で茶目っ気もあった湖人の人物を紹介しました。

漫画『下村湖人』は、神埼市編著の「神埼の偉人マンガシリーズ」第2弾。定価770円（税込）で全国の書店で販売されています。また、市役所に隣接する神埼情報館では、湖人直筆の原稿や書を展示した特別展を開催中です。



※本シンポジウムは、宝くじの社会貢献事業（コミュニティ助成事業）により実施しています。